家庭のおそうじ実態調査

TOILET

“トイレ篇”

衛生面でも清潔にしておきたいトイレは、使用するたびに汚れがたまり、雑菌も広がってしまう場所であることから、“週に5日以上”の頻度で掃除をしているという回答は全体の6割強になりました。また、“掃除頻度”も7割を超えるなど、住まいの掃除箇所としては高い数字が並びました。

Q1 おそうじにかける時間は？

A

6割強の方が“5分～15分未満”のスピード掃除！

全世代を通じて“5分～15分未満”の回答が最も多くあり、掃除頻度が高い層でも、短時間で済ませる傾向にありました。年代別では、若年層ほど時間が短い傾向で、20代では“15分未満”が8割を超えています。

平均 12分

Q2 普段おそうじをする場所は？

A

トップ3の「便器」「便座・フタ」「床」は9割以上！

「タンクまわり」「ウォシュレットのノズル部分」「壁」などを普段から掃除しているのは、全体の中でも60代が他の年代よりも高く、20代は低い傾向にありました。

1位 便器
2位 便座・フタ
3位 床

Q3 使用する洗剤・道具の数は？

A

「お掃除シート」の使用率も7割近くに！

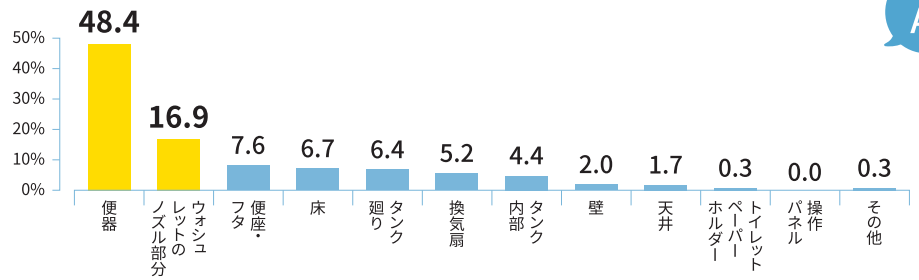
「洗剤」「ブラシ」に次ぐ「お掃除シート」は、掃除頻度が低い層ほど使用率が高い傾向に。「掃除機」「雑巾」は、上の年代ほど使用している割合も高くなるようです。

週に5日以上
掃除をする層の2割は「カビ取り剤」を使用！

洗剤・道具の使用個数は
平均3.3個！

Q4 苦手なおそうじ場所は？

A

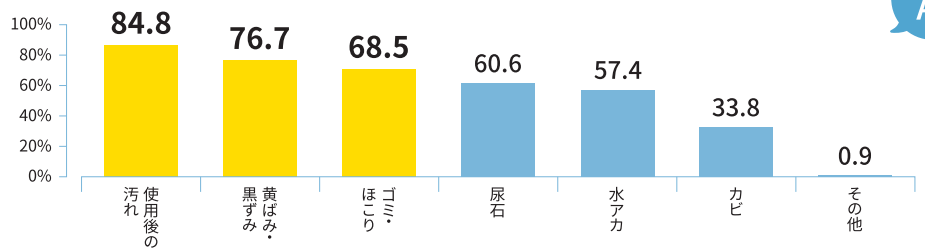


「便器」が掃除しにくいとの回答が、およそ半数！

目の届かないフチ裏やフタと便座の隙間、水アカのたまりやすい手洗い部分など、「便器」の掃除に対しては、ほぼ半数の方が苦手と感じているようです。とはいえ、20代が6割と最も多くなったものの、60代では4割にとどまっており、年代による意識の違いも。2位の「ウォシュレットのノズル部分」は、30代で特に高い割合になっています。

Q5 おそうじの際に気になる汚れは？

A



使用した後の汚れが気になる方は、8割以上にも！

最多の「使用後の汚れ」は、全世代を通じてトップ、「黄ばみ・黒ずみ」にも、8割前後の回答がありました。年代別でみると、30代は「黄ばみ・黒ずみ」「尿石」「カビ」に、40代は「カビ」に対して、他の世代よりも気にする傾向にあるようです。また、専業主婦に比べて仕事をしている主婦は、「尿石」「カビ」を気にする割合が高くなりました。

アンケート概要 ● 調査地域：全国 ● 調査対象：女性・既婚者 20～69歳 ● 調査期間：2018年6月26日（火）～6月28日（木） ● 有効回答数：400サンプル

一般財団法人 サニクリーンアカデミー